

令和3年度第3回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和3年11月28日（日）

実施場所：むかわ町穂別町民センター

令和3年度第3回のむかわ町子ども化石くらぶでは、日本学術振興会国際競争力強化研究員（スミソニアン協会アメリカ国立自然史博物館と九州大学総合研究博物館の双方に所属）で新生代海生哺乳類化石の専門家である松井久美子研究員をお招きし、実習と講演を行っていただきました。昨年度12月に開催予定でしたが中止となり、今年度も8月に開催予定としていたものが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となった回でした。



スタッフとボランティアによる打合せ。当日の動きなどの最終確認をしています。

【5・6年生の部（午前）】

会員児童のうち8名が参加しました。哺乳類の歯に関する実習を1時間半ほど行いました。実習では、松井研究員の手持ちの資料の10種類の哺乳類の臼歯のレプリカについて、歯の形の観察、食性の推測、歯の持ち主の推測を行いました。引き続いての1時間弱の講演では、松井研究員が化石博士になるまでのことや、これまでに訪れた海外の博物館の紹介などをしていただきました。



松井研究員による実習の導入。



実習の様子。聞いたこともない哺乳類の歯（レプリカ）も含まれていましたが、会員児童の数名は、それらの哺乳類も知っていました。



集合写真

【3・4年生の部（午後）】

会員児童の15名が参加しました。実習は5・6年生よりも短い1時間ほどで、実習時間の中ごろで、それぞれの歯の機能の解答を教え、歯の持ち主を当てることを中心に進めました。実習時間から質疑応答が活発だったので、1時間弱の講演中も質問が続きました。



実習の様子



実習で使った哺乳類大臼歯レプリカ



左：答えとなる生き物の写真。右：児童による回答。



集合写真

11月28日の活動では、卒業生ボランティア（中学生）2名、博物館ボランティア3名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘
むかわ町経済恐竜ワールド戦略室 主事 太田晶